

特定非営利活動法人 環境の杜こうち 2006 年度第 7 回理事会議事録

- 1 日時 2007 年 1 月 16 日(火) 15 時 00 分～17 時 30 分
会場 伊野簡易保険保養センター 会議室
- 2 理事総数および出席者数
理事総数 12 名 出席者数 9 名
出席理事 石川、内田、兼松、川村、谷地森、西村、松本、山下、
吉井
出席監事
事務局 上田、戸田
県 坂本(循環型社会推進課チーフ)、竹澤(同課主任)
- 3 議長 議長 _____ 印
- 4 議事録署名人 議事録署名人 _____ 印 ・ _____ 印
- 5 議事録作成人 事務局 (上田 史)

議長に全員一致で理事長を承認した。議事録署名人は松本理事、吉井理事、議事録作成は事務局とすることを全員一致で承認した。

6 議事

審議事項第 1 号 主体間連携モデル事業について担当理事より事業実施報告(資料 7-2)。2006 年 12 月に四国銀行より 200 万円を借入しているが、未払いになっている設計監理協会への支払やスタッフの賃金等で今後の支出予定が 2,416,800 円あるため(資料 1)、2007 年 1 月に 250 万円の追加借入をし、合計で 450 万円の借入をすることについて審議を求め、承認された。

◇ 先に融資を受けた 200 万円の借用期間は 3 ヶ月で、2007 年 3 月 10 日に書き換えの必要があること、JCCCA からの委託金の入金予定は 2007 年 4 月 27 日であり、借用期間はゴールデンウィーク明けの 5 月 10 日までとするとの説明があった。

検討事項第 1 号 平成 19 年度理事の選考について、理事選定に係る定款の内容を確認(資料 2)。事務局長より、設立当初の役員の任期は平成 19 年 6 月 30 日迄であるが、次の任期(2 年)もできるだけ留任する方向で考えて欲しいという意向が伝えられた。新任理事については、会員に対して理事会の役割や理事に求められる条件を提示した上で自薦・他薦を受け付けることとした。提示する内容と理事の選考方法については、まず三役と事務局で素案をつくり、理事のメーリングリストで現理事と意見を交換し、第 8 回理事会までにまとめることで了解された。

検討事項第 2 号 高知県地球温暖化防止活動推進センターのホームページについて事務局長より説明(資料 3)。事務局より、地球温暖化防止部会で早急に内容の検討をして欲しいとの要請があり、部会長が了解した。

検討事項第 3 号 地球温暖化対策啓発事業の予算について、事務局長より、啓発事業は当初の事業計画にはなかったが、1 月 27、28 日のソーレ祭りに出展する『地球温暖化パネル展』と 2 月 19～25 日までソーレで開催する『「ピーターラビットとおんだんかのおはなし」ひろば』を実施するに当たり、新たに事業項目として立てた。事業費は今年度実施しなかった事業の資金を転用できるとの説明がされ、予算が承認された。

◇ 担当理事より、『「ピーターラビットとおんだんかのおはなし」ひろば』の予算内容について説明(資料 4)。当初地球温暖化防止活動推進員の活動の場とする目的で計画した展示会であるが、現実には毎日展示会場の番をする人員を確保することが困難なため、

アルバイトを雇うことにした。

検討事項第4号 四国 EPO から、四国 EPO の運営等について助言をする運営準備委員会に高知県の拠点団体である環境の杜こうちから1名、他団体から1名推薦して欲しいとの要請があった(資料5)。環境の杜こうちからは事務局員が参加した方がよいとの意見が出され、兼松事務局長が参加することで了解した。他団体からは『環境首都コンテスト』等で四国内において実績のある『くらしを見つめる会』の内田洋子氏を推薦することとした。

報告事項第1号 会員、会費納入状況について事務局長より報告。現在4名の会費未納者については再度確認をする。

報告事項第2号 地球温暖化防止部会について担当理事より報告(資料6)。省エネラベル推進事業について、2006年10月1日より全国統一ラベルができたが、定着させるのが難しい。再度働きかけをするため、新しい省エネラベルのポスターを県内の電器店に送付予定。

報告事項第3号 環境学習部会について事務局長から報告(資料7)。1月6日に谷地森、石川理事が担当して『2006年度こうちこどもエコクラブ交流会』を高知県立のいち動物公園で開催、4クラブの活動発表と動物園ツアー、サポーターの交流会を行った。サポーターからぜひ続けて欲しいという強い要望があったので今後も続けて行きたい。今後2理事を中心にメンバーを増やし、部会として温暖化防止部会のように広げていくことで了解された。

報告事項第4号 事業経過について事務局長より報告(資料7)。以下、追加説明。

◇ 環境学習講師研修会は、3月3日の実施に向けて調整中。まだ寒いがこの時期は生物が一番多く生物観察にとてもよい時期なので是非参加を、との呼びかけがあった。

◇ CO₂CO₂削減コンテストの表彰について、当初は過去三年間の排出量に比べてマイナスになったところだけを表彰する計画であったが、夜間の体育館使用による電力消費や漏水が見つかるなど、子ども達の努力に関係なく浪費されているケースがあるため、参加賞を設けた。“努力を評価する”という方向での検討も今後必要かも知れない。

◇ 主体間連携モデル推進事業について、担当理事より、2月初旬にのいちふれあいセンターロビーに展示予定の「住まいの省エネアイデア」の応募が少ないので、アイデアがあれば提供をとの呼びかけがあった。

その他 「高知の環境を考える会」について事務局長より報告。2006年12月20日に開催、29人の参加があった。分野別にもっとじっくり話し合う機会が欲しいという要望が多かったため、これからも続けてきたい。

2007年2月17日に開催される『「協働の森づくり」記念シンポジウム』について(資料別紙)、参加者の受付窓口をえこらぼで担当していることが報告された。

ソーレの3階大会議室前に飲料の自動販売機が設置されることになった。ソーレ事務局より、えこらぼから業者選考委員会に1名出て欲しいとの要望があり、兼松事務局長が参加をしている。設置することは財団が既に決定してしまっているため、えこらぼとしてはせめて環境配慮型の機種を選ぶように意見を出していると報告があった。

7 議長が閉会の挨拶をし、理事会が閉会した。